



**2014-2015年度 主題**

国際会長 Isaac Palathinkal : "Talk less, Do more"  
「言葉より行動を」

アジア会長 岡野泰和 : "Start Future Now"  
「未来を始めよう、今すぐに」

東日本区理事 田中博之 : 「誇りと喜びを持って」  
"With Pride and Pleasure"

湘南・沖縄部長 峯尾 舜 : 「一人は皆のために 皆は一人のために」  
クラブ会長 鈴木 茂 : 「親睦!と奉仕!」

**2014年12月号 <EMC/MC>**

**今月の聖句**

「信心の秘められた真理は確かに偉大です。すなわち、キリストは肉において現れ、「霊」において義とされ、天使たちに見られ、異邦人の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうち上げられた。」

I テモテ 3 : 16

**2014年12月本例会**

日時:2014年12月18日(木)

18:30~20:30

場所:湘南とつかYMCA

報告書:岡田勝美

受付開始 18時00分~

※時間の都合上、礼拝での席上献金はありませんので受付時にお願いたします。

第1部 18:30~19:00

クリスマス礼拝

説教 横浜カルバリーチャペル

柴田 順一牧師

第2部 19:00~20:30

祝会

「130周年を感謝して」

\* 祝会参加費は、1000円です。

**<今後の予定>**

2015年

1月10日 在京ワイズ新年会

12:30~15:30

\*会場:桜美林大学多摩アカデミーヒルズ

\*会費:5,000円

1月13日 事務例会

1月17日 横浜 Y-Y's 新年会

18:30-

場所: 英一番館(神奈川県民ホール内)

会費: 5,000円

1月23日 本例会(クラブ総会)

**<心に残るクリスマス讃美歌>**



秋の行事も終わりアドベントを迎えました。教会ではクリスマスツリーやリースが飾られ、礼拝の時に点燭されるローソクも1本ずつ増えていきます。主のご降誕の意味を心にきざみ、クリスマスを待ちたいと思います。

私には心に残る大切な幼児讃美歌があります。それは次のような歌詞でした。

1、むかしユダヤの人々は神様からのお約束、尊い方のお生まれを嬉しく待っておりました。

2、尊い方のお生まれを、みんなで楽しく祝おうとその日数えて待つうちに、何百年もたちました。

これは娘が幼稚園のページェントで歌ったものを私も覚えたようです。この歌の先を知りたいと思いインターネットで調べたところ、作詞 原利治、作曲 橋村寿とありますが、今はあまり歌われていないようでしたがっかりしていました。

ところが江田福祉ホーム・レストラン部門のキッチンわかばに聖坂養護学校(横浜唯一のミッション養護学校)高等部を卒業したMHさんというお嬢さんが入所されました。彼女は自閉症で、慣れない人から声をかけられるとパニックをおこし、自傷が始まるのでそっとしておくようにと言われていました。そして限られた職員だけと交流を持ち、一人で食器を洗う仕事を一生懸命していました。

ある日気がつくと、幼児讃美歌の「むかしユダヤの人々は」を歌っていました。驚いた私は少し離れたところで自分の仕事をしながら、一緒に口ずさんでいました。しばらくすると彼女は、私の前にスッと立ち歌い始めました。それから私に会うと歌ってくれます。歌のあとの台詞も教えてくれましたので書留めました。「昔世界の初めのクリスマスは、ユダヤの田舎のベツレヘム。宿にも泊まれず家畜小屋でマリアとヨセフの二人だけ、赤子のイエスさま草の産着、ゆりかご代わりの飼いの葉おけ、やさしい笑顔に見守られて・・・グロリア グロリア インエクセルシス デイオ」これは正確ではないでしょうが、私には宝物です。このことを知った職員は大変驚き、お母さんは彼女が学校ではページェントに関心を示さなかったのに、心に残っていたことを驚き、それと共にパニックを起こさず、他人に心を開いた事をとて喜んでいらっしゃいました。

前月データ	
在籍会員数	17名
例会出席者	19名
メンバー	16名
ゲスト	3名
ビジター	
メイキャップ	1名
月間出席者	17名
出席率	100%
プルタブ	3.5kg

**1月例会予告**

1月本例会は、クラブ会則に基づき、総会開催月となります。次年度は今城高之部長を支え、部会ホストクラブとしての準備も開始しなければなりません。年度後半の活動をより充実させてゆきましよう。

**本例会:1月23日(金) 18:30-20:30**

**例会場:かけはし都筑**

1月事務例会は、14日(火) 18:30から田園都筑教会で行います。年頭に当たり、年度後半の計画と次年度のクラブ役員等について協議いたします。

それから10年たち、彼女は今、キッチンわかばで元気にウエイトレスをしています。

神様は小さなところまで心に向けて下さいます。

感謝と喜びをもってクリスマスお祝いしたいと思います。

### <11 月本例会報告>

日時：2014年11月28日（金）18:30～20:00

会場：かけはし都筑

出席者：相賀、今城H・T、岡崎、岡田K・M、鈴木K・S、田中、辻Ta・Ts、林M・S、福島、横田、生井担当主事

ゲスト：石田洋一さん、茂木 雄さん、渡辺隆裕さん

11月本例会は、首都大学東京大学院 社会科学研究所教授 渡辺隆裕さんを卓話者にお招きして開催されました。開会点鐘・ワイズソング・ワイズの信条に続き、相賀牧師による今月の聖句、祈祷がありビジター紹介、会長挨拶の開会セレモニー後卓話を伺った。

「ゲーム理論って何だろう」と題してのお話でした。

2人以上や複数企業間の競争など、それをゲームと考える数学化して分析する学問のようである。また、それは国家間の軍事力の競争、異なる体制での駆け引きなどあらゆる分野で活躍の場があるとのこと。

1944年にフォンとノイマンという数学者が経済学を取り入れながら理論化したものだそうである。

例えばジャンケンをする時相手も自分も互いに戦略を練ってする、また、同じ業種のA店とB店が進出する場合やキャンペーンを打つ場合などお互いに立地条件や価格競争など互いに戦略を打つ、それを実践する時に小生の解釈では数値化して組み立て、確立の高い意思決定をする一助にする、これをゲームといえはそうなのだ。

「ナッシュ均衡」と云う言葉を知っていればゲーム理論を勉強していることになるそうである。ジャンケンでも自分だけが勝ちにならなくて、相手の出方が解らないので、それを統計学的に数値化して何%の確立で勝つか、それがナッシュ均衡だそうです。

高等な卓話ゆえ、誤りや誤解があると心配ですので、詳しくお知りになりたい方は、ウェブ検索(参照URL) <http://www.nabenavi.net/profile/profile.htm>や先生の著書(図解雑学ゲーム理論等)でご確認ください。

卓話後各種アピールがあり、12月18日（木）は、横浜YMCAクリスマス会に例会として参加してくださいと会長より。

メンバー一人ひとりがスマイル報告して、生井主事よりYMCA報告があり、北YMCAまつり、韓国(光州)での研修報告があった。誕生祝い生井佐智子さん。

閉会点鐘をもって閉会となる。(横田 記)

### <12 月事務例会報告>

日時：2014年12月9日（火）18:30～20:30

会場：田園都筑教会

出席者：今城T・H、岡崎、岡田K・M、鈴木S・K、田中、辻Ts・Ta、林S・M、福島、山添、横田

1. 報告・連絡

- 1) 12/8 (木) 横浜YMCAクリスマス会・18:30～20:30・とつかYMCA⇒(鈴木会長)「横浜つづきクラブの本例会合流ということもあり出来るだけ多くの皆さんの出席を！」
- 2) 横浜YMCAクリスマス会報告/岡田K⇒1月号に掲載。
- 3) 第2回部評議会報告(鈴木会長)⇒①次年度の次期部長⇒若木一美氏(とつか)、②次年度役員⇒部長/今城T、書記/林S、会計/岡田K、CS主査/鎌倉、EMC主査/とつか、国際・交流主査/沖縄那覇、ユース主査/天野皓司氏(横浜)。③「平和の鐘」、「防災講演会」、「厚木クラブのCS支援金」、「厚木クラブへの区大会支援」等々。(詳細は鈴木会長の報告を参照されたし)。
- 4) 1/23 (金) 18:30～1 月本例会(総会-クラブ役員人事・その他-)を確認。
- 5) 「みんなの家」報告→12月2日「COCOの集い」は大変有意義な集いだった。当クラブから5名参加(鈴木K)。
- 6) YMCA報告(山添)→チャリラン、北Yバザー、130周年事業、光州派遣等についての報告、とくに横浜YMCA会員大会のブースの説明及び参加要請があった。
- 7) Y-Y's評議会報告(鈴木会長)⇒①YMCA-Y's合同新年会/2015.1.17(土)18:30～20:30/場所未定、②横浜YMCA会員大会/2015.1.17(日)開催。横浜Yよりワイズへ協力・参加の要請。③東日本大震災支援金募集の件(横浜Y)⇒目標/600万円→10月末現在/557万円。

4. 協議

- 1) 横浜YMCA創立130周年記念寄附について⇒クラブとして了承。(詳細は鈴木会長の評議会報告を参照)。
- 2) 2014被災地小学校サッカー交流&ユースリーダーアクトへの寄付について⇒クラブとして了承。(詳細は「東日本区ニュース」第6号4頁を参照)。
- ※事後承諾的案件が目立つが、可能な限り事前にクラブ内で協議し対応を決定するよう努めることを申し合わせた。
- 3) YOU&I コンサート事務局人事について⇒次年度は、事務局長/今城H、会計/横田両氏にお願いすることになった。ご本人も了承。
- 4) 2月の北YMCAとの交流本例会では、YMCAスタッフ(10名程度)の参加費は1000円とし、差額はつづきクラブ側で負担することを了承
- 5) CS活動予定。すぷーん調理ボラ：12/22は辻は欠席。ぼけっと送迎ボラ：12月は12/9、12に変更。(いずれも今城T)。

※ 例会後は、メンバーの料理、飲み物持ち寄り方式で若干早めのクリスマス懇親会をもった。冒頭、クリスマスの讃美歌2曲を全員で歌い、鈴木会長の食前の祈祷でスタート。どのお料理も大変美味しく様々な話題で大



いに盛り上がった。



(辻 剛 記)

### <湘南・沖縄部部長公式訪問報告> 沖縄那覇クラブ、沖縄クラブ合同例会

次期部長 今城高之

湘南・沖縄部長ならびに随行者を迎え、沖縄 2 クラブの合同例会が11月29日、19:00より那覇市内の沖縄サンプラザホテルにて開催されました。

参加者は、横浜YMCAより田口努総主事(横浜クラブ)ならびに井上孝一担当主事(八景クラブ)、沖縄YMCAからは知念一郎理事長がそれぞれ出席。

ワイズメンバーは、横浜クラブ2名(メネット1)、横浜とつかクラブ1名、厚木クラブ1名、つづきクラブ2名と金沢八景クラブ10名の他、八景クラブのゲスト6名(入会候補者)が出席。

なお地元からは、両クラブ関係者が出席しました。

プログラム概要は以下のとおり。

- ・屋良沖縄那覇クラブ会長の点鐘ならびにワイズソング合唱とワイズの信条唱和で開会。

- ・知念沖縄YMCA理事長による聖句朗読に続き、屋良会長から、訪問者に対する歓迎の挨拶が述べられた。屋良会長は、特に、沖縄YMCAの公用車購入への湘南・沖縄部各クラブの支援に対する謝意を表した。

- ・続き、峯尾湘南・沖縄部長が訪問の挨拶を述べ、沖縄の両クラブが湘南・沖縄部の一員として活発に活動されるよう要請した。

- ・田口総主事は挨拶の中で、今回の、横浜YMCA総主事として初の沖縄YMCA訪問により、翌日から同盟島田総主事も加わって、知念沖縄Y理事長他と、沖縄YMCAの今後に関しての話し合いがもたれることを披露。

- ・引き続き登壇した知念理事長からは、公用車購入に対する支援についての謝辞が述べられたほか、横浜Y、同盟との協議に対する期待が述べられた。

その後、YMCAの歌が合唱され、屋良会長の点鐘で第一部を閉会した。

第二部の懇親会では、沖縄クラブ万田寿也会長が開会の挨拶に続き、今城高之次期湘南・沖縄部長の乾杯の音頭で開会。その後、参加した沖縄クラブの若いメンバー

も加わって懇談に花が咲き、約二時間の懇親会は閉会。場所を変えての二次会にも大勢が参加して懇親を深めることができた。

### <2014-15年度湘南・沖縄部第2回評議会報告>

日時：2014年12月29日(土)16:30～18:30

会場：沖縄サンプラザホテル

構成員：部役員(部長・次期部長・直前部長・書記・会計・事業主査・部担当主事)  
クラブ役員(会長・副会長・書記・会計各1名)計42名。

定足数：部則第8条第4項により、構成員の2分の1以上(委任状による出席を含む、ただし委任状による出席は出席総数の2分の1をこえることはできない)。

出席者数：17名+委任状による出席21名にて評議会成立。

当クラブからは今城T次期部長と鈴木Sが出席。

今回は湘南・沖縄部発足以来、初めての試みとして、部長の沖縄公式訪問時に合わせて、沖縄で部評議会が開催された。懸念された評議会の成立も、17名の出席を得て、委任状による出席も含め無事クリアすることができた。

峯尾部長による開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、聖書朗読・祈禱に続いて、部長挨拶、横浜YMCA田口総主事挨拶が行なわれた。峯尾部長から、念願の沖縄での評議会開催が実現できたことへの感謝の挨拶であった。田口総主事からは、横浜YMCA130周年記念事業の一環として、韓国・光州YMCAから寄贈された“平和の鐘”を富士山YMCAに設置した旨の報告があった(屋根工事等は未完了)。

議事に入り、諸議案が次の通り、可決承認された。

第1号議案「部会会計報告の件」。さる9月27日(土)に開催された湘南・沖縄部会の会計報告が提案通り承認された。

第2号議案「次年度次期部長及び次期部役員選任の件」。先般の部役員会での決定方針(横浜とつかクラブより次年度次期部長候補を推薦する)に基づき、とつかクラブより提案された若木一美ワイズを次年度次期部長として選任することが議決承認された。

次期部役員については、決定済みの今城高之部長以下次の役員選出が承認された。

書記：林 茂博(つづき)、会計：岡田勝美(つづき)、地域事業主査：(鎌倉クラブから選出)、会員増強事業主査：(横浜とつかクラブから選出)、国際・交流事業主査：(沖縄那覇クラブから選出)、ユース事業主査：天野皓司(横浜クラブ)。

第3号議案「横浜YMCA創立130周年記念品の件」。

韓国・光州YMCAより寄贈された“平和の鐘”の設置(富士山YMCA)費用の一部として横浜YMCA

に15万円寄附することとし、内7万円は部会計から、8万円は各クラブから1万円あて支出することが議決承認された。

なお、横浜YMCAは湘南・沖縄部の各クラブ名を記載した銘板を作成し、鐘の土台に組み込むことを確認。

#### 第4号議案「YMCA 三浦ふれあいの村 防災講演会支援の件」。

YMCA 三浦ふれあいの村が計画している「三浦市防災講演会」(群馬大学・片田敏孝教授、2015年1月17日開催予定)からの後援依頼に関し、湘南・沖縄部として3万円支援することが議決承認された。

#### 第5号議案「厚木クラブCS支援金の件」。

厚木クラブから申出のあった「宮の里ケアセンター ファッションショー」へのCS支援金申請(申請額2万円)に対し、1万円を支援することが議決承認された。

#### 第6号議案「厚木クラブへの東日本区大会支援の件」。

厚木クラブから申請のあった「第18回東日本区大会」への30万円支援願い出に関し、様々な議論を経て申出通り30万円を部の特別会計より支出することが議決承認された。

以上で議事は終了し、続いて東日本区役員会報告、各クラブ報告、YMCA報告が行なわれた。2015年の湘南・沖縄部と横浜YMCA合同新年会については、予定通り2015年1月17日(土)に開催することが確認された(場所は未定)。

(鈴木 茂 記)

### <第67回YMCA-Y's協議会報告>

日時 : 2014年12月2日(土) 19:00~20:30

会場 : 横浜中央YMCA 501号室

担当 : 鎌倉ワイズメンズクラブ

出席者 : 16人(内横浜つづき1人)

開会礼拝及び峯尾湘南・沖縄部長挨拶に続いて(横浜YMCA・田口総主事は所用により欠席)、協議事項に入った。

1. YMCA-Y's 合同新年会は、当初予定通り2015年1月17日(土)とし、時間は18:30-20:30とすることが確認された。場所は近日中に決定の予定。
2. 横浜YMCA 会員増強キャンペーン及び会員大会について、井上部担当主事より報告があり、第3次会員増強キャンペーンが1月~3月の3ヶ月間にわたって展開され、200人の維持会員新規獲得を目標としていること、ならびに維持会員相互の交流、親睦、学び等を目的とした会員大会を2015年2月11日(祝)に計画していることが説明され、ワイズ・YMCA 双方への協力・参加要請があった。
3. 東日本大震災支援募金状況について井上担当主事より報告があり、2014年度募金目標600万円に対し、10

月末現在の実績が557万円であること、この募金は震災発生後5年間(来年度まで)実施予定であることなどが説明され、引続き募金協力の依頼があった。

➤ 報告事項では、最初に峯尾部長より、11月8日に開催された第2回区役員会決定事項及び11月29日沖縄で開催された第2回部評議会決定事項等の報告があった。次いで、各クラブより最近の活動状況に関する報告が行なわれた。

➤ YMCA 報告では各担当スタッフから、①横浜YMCA130周年記念事業、②第17回チャリティーラン、③光州派遣短期研修、④全国リーダー研修会、⑤日本YMCA大会 についての報告があった。

次回のYMCA-Y's協議会開催は、2015年3月3日(火)、横浜とつかクラブの担当。

(鈴木 茂 記)

### 私のCSボランティア活動 (その4)



今城宏子

ワイズメンズクラブが発足しクラブとしてCS活動に参加する前に、いくつかのボランティア活動に携わっていました。

その一つはグループホーム「ほけっと」の調理ボランティアで、もう何年になるでしょうか。その流れ(!?)で現在当クラブが行っているグループホーム「すぷーん」の調理ボランティアが続いていることは本当に嬉しいことです。

入居している皆さんの笑顔に励まされ、時には今まで作ったことのない新メニューのリクエストのおかげで我が家のマンネリ食事にアクセントが加わったり、得ることの多い楽しい活動です。

当クラブの活動ではありませんが、12年前民生委員をしていた時に私共が居住している団地で「シルバークラブ」を立ち上げ委員を退任した後も世話役を務めさせて頂いています。当時、20名位だったメンバーが登録者数50名を越え、月一度の定例会には30~40名、月一度の茶話会には20名ほどの参加者がおられます。定例会には講師をお招きしたりミニコンサートを行ったりしていますが、今年度はクラブお馴染みのロブ先生にもご講演頂きました。水谷先生もご同席下さり「傾聴」の紹介も頂きました。次年度は講師としてお迎えしたいと思っております。ちなみに後日、ロブ先生の横浜探訪に参加した方もあり大感激ですっかりファンになられたようです!

素敵な方々との出会いを与えて下さったワイズメンズクラブに感謝です。

クラブのCS活動は一人ではできない継続した働きを可能にする大きなチャンスと思います。調理ボラも傾聴ボラも「継続は力なり」ではないでしょうか。その活動から私たちが頂く「プレゼント」に感謝しつつ、今後も一つ一つを大切に続けていきたいと思ひます。

勿論、ワイズの信条を大切に!





## 「ワインに思う」

アドベントに入り、イエス・キリストの誕生を待つ月になりました。

まったく関係ない話を少ししてみようかと思いき筆啓上します。

ブドウの汁がワインという飲み物になった歴史はいろいろ諸説があるので省きますが、古代人たちは自然に発酵してアルコールを含んだブドウ汁を口に、「これは何かいい気持ちになった」といって、その酔い心地に憧れて、人間が造るようになったのが始まりと聞いている

いずれにしてもワインは、気がついた時は、神様と人間との交感の結実として、古くから現代までである。

ワインについて最初に記述としてのったのはノアの箱舟であった。「旧約聖書」の創世記9章からで、選ばれた人々と動物たちを無事に洪水から守り、アララト山に運び終わったノアは農夫となりブドウを植え、ワインを飲み酔っ払ったことが書かれている。

その後いろいろあるが、特にユダヤではワインを飲み過ぎると風紀を乱したり信仰をないがしろにしたり、異教徒に飲まれたりすることをおそれ、飲酒制限を立法化したりしましたが、内部から分裂がはじまり、神の子として自らも神であり、また人間でもあるイエス・キリストが出現しました。イエスは神としてワインを摂り、人間としてワインを飲みました。

イエスの生涯は省きますが、最後の晩餐でのキリストの言葉として、主イエスが、パンをとり、感謝してそれを裂き、「これはあなたがたの為の私の肉体（からだ）である」と言いながら渡されたこと、そしてワインの杯を渡されながら「この杯は、私の血による新しい契約である。飲むたびに私を記念して、わかちあいなさい」と言われています。

その後いろいろありますが、キリスト教徒、特に修道士、修道女たちによるワインが、それまでのワインと流れを合わせ、キリストの血であるというお墨付きまで加わって、現代まで更なる発展をして来たのであります。

ワインについては講釈や作法など、うるさい事が多々あり、また、品質も価格もピンキリでなかなか厄介です。高級や普通のフランスやイタリアレストランでも料理は其の店では同じものが大体でできます。しかしワインによって手の届く価格であったり、まったく手を出せない料金になったりします。

小生の思うには知識や講釈がなくても、価格が高い安いでなく、美味しければそれでよし。ましてや楽しい仲間とワイワイやるのが一番と考えます。

ただ、決して忘れてはならないのは「神様とイエス・キリストに今飲めることに感謝すること」、これが言いたかっただけです。

オソマツでした。

(横田孝久 記)

## <第32回主事研修(アドバンスコース)に参加して>

山添 訓

<概要>

- ◆日 程:2014年11月3日(祝・月)~11月28日(金)
- ◆場 所:香港(香港中華YMCA Wu Kai Sha Youth Village)
- ◆主 催:アジア・太平洋YMCA同盟
- ◆参加者:香港1名、スリランカ1名、インド1名、台湾2名、フィリピン1名、日本3名、セネガル1名
- ◆目 的:YMCAの主事に必要とされるさまざまな知識やスキルを身に着けると同時に、アジア地域が直面する市民社会の課題をそれぞれのYMCAがもつ課題とも絡み合わせ、どのようにYMCAミッションを共有し、YMCA運動を作り上げていくかについて学ぶことを目的としています。
- ◆内 容:YMCAミッション、神学、現代社会の課題と分析、スピリチュアル、リソースモビライゼーション、ジェンダー、地球市民教育、ガバナンス、オルタナティブ・ツーリズム、SWOT、

<所 感>

今回、約1か月間、Good Wife と Pretty Dog と別れて、香港の地で研修に参加してきました。最初の2週間はすごく長く感じ、多少ホームシックになりましたが、仲間を支えられ、神様のお守りのうちに全うすることができました。



学びの中で一番感じたことは、自分自身が本当にグローバルについての認識が少なく、日本という国の狭い視野で物事を見ているということが分かりました。考えるべき課題は多いですが、このような社会にあってYMCAが取り組むべき業は何かということ、改めて考えさせられる機会となりました。

キリスト教の理念にたち、横浜YMCA—私たちの使命—を実践していくことが大切に感じました。今後、今一度学んできたことを整理して、活動の取り組みに活かしていきたいと思えます。

最後にお祈りのうちに入れていただき、お支えいただいた皆様に感謝いたします。

### <横浜北YMCAだより>



第45回全国YMCAリーダー研修会が11月1日～3日の2泊3日で実施されました。全国21の地域から集まった約100名のユースリーダーが富士山YMCAに集い、研修テーマ：地の塩、世の光としての働き「担い手として自らが気づき、考え、自ら動く」、YMCAリーダーが向き合うべき社会的な課題について考える場として進められました。



ユースのリーダー自らがYMCA運動を担う一人として、社会的な課題についてYMCA活動を通して行動していくことをねらいとして実施され、はじめに基調講演として写真家の小川哲史（おがわてつし）さんにお話いただきました。小川さんは、東日本大震災後の福島に住む子どもたちの現状を写真に撮り続ける活動を続けられています。福島に住む子どもたちの現状を学びながら、今、自分たちがYMCA活動を通して何ができるのかを考え、リーダー自らが考える社会的な課題についてのワークショップやグループディスカッションを通して学びを共有しながら深めていきました。



互いに交流を深めながらYMCAの担い手としてどう動くかを考える三日間となり、これら研修での学びが、今後各YMCAの活動の中でユースが中心となり発信する力となることを期待したいと思います。この実施につきましても、ワイズメンズクラブ

東・西日本区の皆様の多大なるご協力がありましたこと、あらためて感謝申し上げます。



この写真は、グループごとに決めた社会的課題について、富士山をバックに、自分のYMCAで自ら行動することについて宣言した時のものです。

横浜北YMCA 館長 生井知三

### <『COCOの集い』参加報告>

日時：12月2日 11：00～13：30

場所：みんなの家交流室

当クラブ参加者：岡田美和、鈴木恭子、辻 剛、  
福島佐世子、林 理子

「私の歩んできた道障がい者を兄弟姉妹に持つという事」シリーズの第3回目として、第13回COCOの集いが開催されました。

第1回はダウン症の弟さんをお持ちの押田監督による「39 窃盗団」という映画鑑賞会への参加、第2回は障がい者の兄として弟さんをお世話なさっている渡辺さんのお話をお聞きしました。今回は、妹さんとしてお母様亡き後、お兄様を支え始められたばかりの千葉さんと障害のあるお子さんを持つ東山さんを囲んでの座談会でした。

一口に「障がい者の家族」といっても、家族構成や性別・障がいの種類など、様々な条件の違いで受ける影響の大きさも形もかなり違ってくるといふ、切実な問題を知る機会となりました。

(林 理子 記)

### <ささえ愛福祉週間にパネル展示>

12月2日～6日都筑区役所区民ホールにおいて、ささえ愛福祉週間のイベントとしてPRパネルポスター展が開催されました。

今年も展示に参加しましたが、アーモンドコミュニティネットワークと隣り合わせの展示場所でした。

もう同じパネルを3年以上使用しているので、更新をしなければならない時期に来ていると感じました。

(林 茂博 記)

